

東京歯科大学同窓会会報

東京都千代田区神田
三崎町一ノ七

発行所
東京歯科大学同窓会

編集兼
発行人 加藤倉三
電話 九段(33)8446 (代)

歯科界の明日を担つて

鹿島俊雄君参院全国区に当選



我らの同窓、鹿島俊雄君は、日本歯科医師政
治連盟、日本医師政治連盟の推薦、並びに同君
の属する自由民主党公認候補として去る六月二
日施行された参議院全国区候補として堂々と立
候補され、栄ある当選の榮譽を担われた。

今年には地方選挙を始め参院選と将に選挙の半
年であつたが、多くの会員各位の当選の報に、
榎本名誉会頭、西村会頭、福島学長も心から祝
意を表し、同窓会員を始め歯科界の各位の御協
力に深く感謝をされている。当選の榮譽に輝く
鹿島君は次の様に談られた。

「私は多年に亘り、公的には内閣諮問機関た
る社会保障制度審議会委員、厚生大臣諮問機関
たる中央社会保険医療協議会、臨時医療保険審
議会委員を兼任致し、又私的には鹿島社会保険
研究会を創設し、微力乍ら、我が国、社会保障
制度の確立に懸命の努力を重ねているのであり
ます。この制度中私の専門的立場から、先ず第
一に、医療の保障即ち病氣の時には誰でも安ん
じて一番最善の手当が受けられる様に、又医師
も歯科医師も、誰にでも一番良い手当をしてあ
げられるよう、現行各種社会保険医療をして、

おしらせ

同窓会本部より会員各位に、当
る六月の口腔衛生週間のため「歯
の衛生」の印刷物をお送り致しま
した。有効に御使用の程お願い致
します。

第一四八回

東京歯科大学学会開催通知

来る六月二十日(土)午後一時より本会例
会を開催致します。

会場 東京歯科大学講堂

同窓会員各位にも本学会に御入会、御来場下さる様御
願ひ致します。

第七十五回例会開催通知

本年度の六月例会を左記次第により開催致
します。

多数会員の御来会をお待ち致して居ります

日時 昭和三十四年六月廿一日(日)

午後一時—四時

場所 東京神田水道橋母校

次第

午後一時—一時三〇分

「スエーデン留学より歸りて」

母校助教 高添一郎君

午後一時三〇分—一時四〇分

挨拶 鹿島俊雄君

午後二時一〇分—四時

「矯正治療の実際」 母校教授 齋藤久君

◎恒例により当日会場にて歯科器材の陳列即売を行いま
す

◎当日例会終了後同君の出席の許に報告会を兼ね
懇親会開催の予定である。出席御希望の方は六月
十八日迄に本会宛御申し越し願ひ度く御案内申し
上げます 会費 五〇〇円

昭和三十四年六月五日

会員各位
会頭 西村豊治

真に国民の生命尊重の最高理念に基く適切なる医療制度の確立に努力したいと念願しており、次に母子家庭、癡疾者、身体障害者の活擁護さらに農漁林業・中小企業者等も含めた国民の老後生活を確保するため、国民年金制度の完全実施を期すべく、現在既に民間的ではあるが国民年金協会の推進委員として活躍致しておる次第です。

私達の幸福な生活とは、心身の健康と経済的安定にあるといえましよう。不健康は経済的貧困をよび、又経済的不安は、健康を害し、貧乏を招き、犯罪を生むもので、この健康と経済的安定の二つは私達のためたのしい生活を保障するに重要かつ不可欠な要素であります。これのためには、国家は前に述べました医療保障、失業対策、教育の機会均等、又国民年金による保障等の社会保障制度の確立、側面的には減税、科学の振興、産業の発展、食糧の増産、貿易の拡大等賢明なる施策を必要と致します。私は全国民がたのしい生活が出来るよう政治に於いてあらゆる努力を致して行きたいと念願しております。

政治は常に正しく、しかも明るくなくては行けない。これは私達の楽しい生活にも直結するもので、政治に偏見、策謀、汚取ありでは到底国民の生活安定も国家の繁栄も望み得ません。国家社会に於いては、全人類の平和を常に念願する穏健なる世界観に立脚した正しい協調、内的には、国政は国民の信託によるものであること

とを銘記し、あくまで民主主義の理念を堅持して、民意に添った正しい明るいガラス張の政治が出来よう熱誠以つてあらゆる面に努力したいと念願している次第であります。

同窓各位の御支援に対し、心から御礼を申し上げると共に、今後共宜ろしく御指導御鞭撻の程御願ひ申し上げる次第である。

なお、今回の参院選挙で医系議員として歯科関係より中尾辰義氏(大歯大同窓)が当選され女医山本すぎ氏並びに薬剤師界より高野一夫氏がそれぞれ当選の栄を担われた。

当選医歯参議員四氏の得票数

- 中尾辰義氏 全国区 十四位 四九四、七四二
- 鹿島俊雄氏 全国区 三十位 三七七、一七四
- 山本すぎ氏 全国区 三十六位 三九九、九六一
- 高野一夫氏 全国区 四十位 三三六、一三九

母校収益事業の一つとして

学校法人東歯大保険事業部開設

母校においては、学校法人の寄附行為に基づき収益事業の実施を計り、保険事業部を開設した。同窓校友各位のうち、三井生命保険相互会社並びに千代田生命保険相互会社と御契約のある方は、東歯大事業部に振替えて頂けると母校の収益事業の一翼を担って頂けることに相成ります。従つて、今後保険料の払込みは三崎町一ノ七東京歯科大学内保険事業部宛に御願ひ致します。但し上記二会社に契約があつても、他代理店扱いのものには除かれます。なお火災保険も、大正海上火災保険株式会社の代理業務を母校保険事業部で扱っております。多数会員各位の御利用を御願ひ致します。

全国各地同窓より祝電

今回の参議院選挙に当り鹿島俊雄君の当選を祝して全国各地

地同窓より本会宛祝電を頂いた。左に掲げて心から御礼申し上げます。左に掲げて心から御礼申し上げます。

- (佐世保) 田中健之助君、江崎清君、村尾栄君(山形市) 小林兵衛君(世田ヶ谷区) 両角彦一君(甲府) 長久保正夫君(伊東市) 岡山章君(大阪市) 菊池貞雄君(北海道) 佐々木三知夫君、向山英三君(長野県) 菊池武彦君(鹿児島市) 三宅久夫君 高良瑞穂君(宇都宮) 梶井信夫君(鳥取県) 矢田貝清治君 群馬県支部殿(千葉県) 長島君(能谷市) 佐々木八郎君(豊橋市) 東三豊徳会殿(墨田区) 秋川福繁君(仙台市) 梅津義男君(鳥取県) 能野千太郎君(八王子) 町田四郎君、高木昂君、三枝文平君(小枝市) 徳積藤雄君(能本市) 西野鉄雄君、上田誠一君(小樽市) 長谷川篤君、九津見肇君(新宿区) 佐々木敏夫君(浜松市) 森田福造君(京都) 柏井郁三郎君(名古屋) 大橋俊次郎君(横浜市) 山本勝利君(室蘭市) 鈴木大吉君(岐阜県) 高木健吉君(品川区) 安藤弘君(玉島市) 渡辺茂君(戸畑市) 広田碩夫君(旭川市) 井合閔三君(福岡県) 福隆会殿池田明治郎君(鳥取県) 高木広悦君(岩手県) 高橋源喜次君(静岡市) 下村醇君(石巻市) 鈴木惣次郎君(帯広市) 杉田末吉君(秋田県) 中道嘉門君(宇和島市) 久保田謙次郎君(千代田区) 小谷虎次郎君(大阪) 大阪歯科大学殿(九州) 九州歯科大学同窓会殿

御知らせ

学校法人事業部では懸案の保険代理業務を正式に開始しました。同窓、父兄並びに教職員各位は事業部を通じて保険に加入され大学の運営に御協力下さい

- 生命保険 三井生命保険相互会社
- 同 千代田生命保険相互会社
- 火災保険 大正海上火災保険株式会社

(右保険事務は大学調査部で取扱いますから御連絡下さい。直ちに専従職員を派遣します。)

学校法人東京歯科大学保険事業部

地方ニュース

先般行われた地方選挙で、左の同窓各位が芽出度く当選の栄を得られた。謹んで祝意を表する次第である。

- 東京都議会議員 吉峰 長利君
- 兵庫県議会議員 矢野 善寛君
- 青森県議会議員 鈴木 禮君
- 東京都議会議員

- 三浦 宗一君 (新宿区)
- 藤江 義三君 (目黒区)
- 川島平三郎君 (品川区)
- 安藤 弘君 (品川区)
- 高橋初太郎君 (渋谷区)
- 吉峰 登君 (渋谷区)
- 久木留 広君 (荒川区)

予て御静養中の故血脇守之助先生未亡人ソデ刀自は五月十一日午後八時三十分、天寿を全うされ安らかに永眠された。



血脇ソデ刀自

永眠さる

溢血にてにわかに御他界になられた。故血脇先生の立派な内助者として、数々の逸話が残されている。常に温顔をほころばされ、接する者に慈母の情をうけさせて居られたお姿は今は幽明境を異にされた訳である。恐らくは安らかに眠られる血脇先生の許に旅立たれ御二人で静かにほぐえみ合われていることと思われる。謹んで御冥福を御祈り申し上げる次第である。

市議会議員

- 宮下寅之進君 (佐倉市)
- 中村 忠雄君 (龍ヶ崎市)
- 高橋 省巳君 (木更津市)
- 石井 潔君 (館山市)
- 小西 憲作君 (横浜市)
- 庄司 清夫君 (横浜市)
- 石川 佐一君 (茅崎市)
- 柳沢 清一君 (上田市)
- 谷本徳太郎君 (福山市)
- 中谷 貞君 (広島市)
- 渡辺 一郎君 (佐世保市)
- 埜場 久精君 (旭川市)
- 神原 立郎君 (札幌市)
- 町村長、町村議会議員
- 長谷川正人君 (長野県松代町長)
- 片野利三郎君 (群馬県新治村長)

学位受賞者紹介



川越助三君(群馬県中之条町議)池上一雄君(長野県龍野町議)なお以上各氏のほか、当選の栄を得られた方もあること、考えられるが、本会宛第一報賜われれば幸甚と考える。

学位受賞者紹介

坂田 三 称君
坂田君は埼玉県の産、県立深谷商業学校卒業

昭和二十一年九月創立第一回の予科生として本学に入學。二十四年三月予科修了。四月學部に進學。重厚なる性格と燃ゆるがとき向學精神とは常に衆望を担つて、在学中總代として全級友を統率卒業當事者間にも絶大なる信望を得ていた。

二十八年三月優秀なる成績をもつて卒業、直ちに口腔外科教室に助手として採用され、診療に、研究に献身的な努力を続けておられたが、生理学教室前教授山田守博士が鳥取大學に赴任された三十年乞われて同教授とともに鳥取大學醫學部に転任された。

再来山田教授の手足となつて研究に没頭。すでに数々の研究業績を公表せられていたが、昭和三十二年日本生理學雜誌に登載された「神経線維に対する諸種イオンの影響」を主論文として鳥取大學米子医科大學に提出學位請求中であつたが山田教授主査のもとに審査が進められた結果満場一致をもつて同大學教授會を通じて、昨三十三年七月二十九日付にて

榮ある學位記が授与された。誠にためてたい限りで心から祝い申し上げる。

さきに森沢君が學部卒業第一号として報導したがさらに一ヶ月を經ずして第二号が誕生したわけで、今後も続々として新博士が送り出されることを思うと新南學士諸君の前途は益々洋々たるを信じて疑わない。

同君は現在なお鳥取大學醫學部第一生理學教室において山田教授を援け、口腔領域における神經生理とくに、歯根膜、齒髓、齒齦等の神經知覚末梢の性質について特殊な研究を続けて居られるので、近く画期的な業績が発表せられるものと期待して

主論文(前出) 参考論文 神經線維に及ぼす刺激の效果について 他四編



鈴木 和男君
同君は本年三月で満三十二才の働き盛りで、

埼玉縣鴻巣市の出身、昭和二十六年三月母校を卒業すると、直ちに口腔外科学教室に入室、診療の傍ら口腔外科疾患とくに三叉神經痛に対する葉綠素の研究に専念していたが、昭和二十八年八月助手現職のまま東京大學に派遣され懇請されて文部教官に任せられ、東京大學助手として、医学部法医学教室勤務を命ぜられた。以来上野正吉教授の指導によつて、歯科法医学開眼の基礎である歯牙からの血液型を抽出することに成功して、法医学界に波紋を投じ、さらに我が国最初の血液型カメラを発見して、人類遺伝

学上偉大な貢獻をもたらした。簗雪の功なり昭和三十三年十月八日の東京大學醫學部教授會で満場一致論文が通過し、越えて十一月二十六日付で榮ある醫學博士の學位記が授与された。

今まで血液型を証明できる血液型物質は身体諸部どこでも存在していると考えられているにも拘らず、歯牙からは未だそれぞれ抽出することができなかつた。同君の主論文である「歯牙硬組織よりの血液型物質抽出に関する研究」の動機は、かの有名な大津カービング銃事件に際して、マンホール中の屍体についての血液型鑑定がきつかけとなり、遂に歯牙のみでなく、歯石や義歯からも血液型検出の可能性を証することができた。

同博士は昭和三十三年三月から再び母校口腔外科学教室に勤務し、同年六月には我が國で一一〇七番の死体解剖資格者となり、本年四月一日付で講師に就任し、現在に至つている。同博士は未だ独身で、今後が大いに期待されている。なを御母堂は東京女子齒科醫學専攻で現住所で開業し隆盛を来している。

(口腔外科学教室長尾喜景記) 山本 勝一君
山本君は山梨縣に生れ、昭和二十一年學立甲府中學卒業、同年創立早々の本學予科に第一期生として入學、二十四年三月、三ヶ年の予科生活を終つて學部に進み、二十八年三月優秀なる成績をもつて、學部第一回卒業生として學立つた新進



山本 勝一君
山本君は山梨縣に生れ、昭和二十一年學立甲府中學卒業、同年創立早々の本學予科に第一期生として入學、二十四年三月、三ヶ年の予科生活を終つて學部に進み、二十八年三月優秀なる成績をもつて、學部第一回卒業生として學立つた新進

学生徒である。
学部進学とともに当病理学教室に入室学業の傍いろいろの研究に従事いわゆる隊の下の方持として努力を払つておられた。

人となり不言実行、むしろ謙遜過ぎる性格は予科時代から衆望を鬼め連年総代に選ばれていた。
卒業と同時に私の推薦で警察庁科学捜査研究所法医学課に勤務されていたが日頃の研究態度が上司に認められ警察庁としては異例な警察大学特別研究生として更めて私の処に派遣され、専攻生として入室、専心法医学鑑定方面の研究に没頭されていた。また同君の研究業績に特別な関心を寄せていられた藤井安雄博士が東邦医科大学の法医学教授として招聘されるに際し、同教授の勧誘により同論文を提出して学位請求中であつたが、本年一月十三日めでたく同教授会を満場一致をもって通過、二月六日付は栄ある学位記を受領された。謹んで祝福申上げる。

三月二十日には、同君の研究論文が科学捜査面に絶大なる貢献をもたらしたものと、警察庁が始まつて以来三人目という警察長官賞が贈られ、さらに四月一日付科学警察研究技官に任官された。重ね重ねの朗報で、当人はもちろん御家族一統の喜びの程察するに余りあるし、めでたに御同慶の限りである。

主論文 人歯牙の抜去後経過時日的研究
に伴う変化に関する実験的研究
(内容は当時、朝日、毎日、読売産経他有名新聞紙上に報道された。)
参考論文 歯根の研究 他四編
主査 藤井安雄教授(法医)
副査 森 於菟教授



(解剖、医学部長) 西井 烈教授(病理) 藤井 冲正君

ふじいおきま さ君は昭和五年神戸市藤井博士の長男として生れ、昭和二十二年県立明石中学卒業、同年四月母校東京歯科大学専門学に入学、同六年三月優秀な成績をもつて卒業、直ちに口腔外科学教室研究生に採用され翌二十七年四月東京歯科大学助手、三十一年四月東京歯科大学講師に昇進されたきつ粋の水道橋つ子である。

助手就任と同時に当病理学教室に入室、外科部の診療終了後教室に通つて研究を続けられた。学力低下の最も激しかった時代の中学教育を経たため、勉学には殊のほか苦勞されたとのことで、ことに語学の方面にその感が強く、外国論文の翻訳には長年徹夜の努力が続けられた。

前記鈴木氏同様乳歯の生活歯髓切断に関する研究が主課題であつたため、乳犬の飼育には並々ならぬ苦勞を垂ねられ、無慮百頭に近い幼犬を手掛けられてゐる。
昨年七月、完成した業績乳歯の生活歯髓切断法に関する実験的研究を主論文として東京歯科大学に提出学位請求中であつたが、三宅 仁教授主査のもとに慎重審査が進められた結果優秀なる業績であることが認められ、本年一月十四日満場一致をもつて同教授会を通過、三月三日付にて目度く栄ある学位記を受領された。
誠に慶賀の至り、心からお祝い申し上げる。
同君は、故花沢教授無二の親友故

磯治郎氏を祖父に、博氏を父として稀に見る恵まれたる家庭の文字通りのボンチとして育まれた人に似ない熱血漢で、動物実験から標本の作製まで全く教室員の手を煩わさないばかりでなく、他の研究生のものまで協力を惜しまなかつた。同君の機をざる努力に對し重ねた藤井家の前途を棒げるとともに、父君博氏ともども栄ある学位を得られた藤井家の前途やきわめて洋々たるを信じ慶賀申し上げます。
研究業績は単に病理方面に限らず

各地同窓会のうごき

浅草支部

四月十七日午後五時蔵前橋畔国技館隣隅田川温泉茶寮柳の間に於て本会総会兼懇親会を開催した。来賓に西村会頭を迎え出席会員廿五名、先づ古屋幹事の司会に始まり、沢口支部長の挨拶から始まり、鹿島俊雄氏の後援に就て懇談し了つて前回懇親会席上緊急勧募となつた会費値上及び年一回の親睦旅行会を再確認し、委員に酒井照義氏、小菅弘一氏、佐藤章氏の三名を報告し之れ又承認を得た。議長に石原文海君を公選し、庶務事業会計等一括各自報告の上異議なく承認スミスに議事を進め、役員改選の件に入り勢頭支部長立つて次期支部長に多年女房役を買つてくれた副支部長中久喜君を推薦し、満場一致に賛成滞りなく新支部長が出来上り就任の挨拶があつた。他の役員は新支部長に一任し議事を終了宴會に移つた。
次の間で待期して居た西村会頭を

外科方面においても多数の論文を発表せられており、審査にあられた三宅教授も絶大な讃評を呈しておられたことを附記する。
旧職良縁を得られて新家庭を営んで居られるが近い将来重ねて朗報を入手できることを期待している。
主論文 乳歯の生活歯髓切断法に関する実験的研究
参考論文 オーレオマイシンによる頬部放線菌症の実験例 他八編
(松宮誠一誌)

(中久喜助教敬啟)
同副支部長 石原 文海君
同幹事 山添進一郎君
野口 英夫君
熊谷 一義君
以上
奈良県支部
左の如く総会を開催した。
開催日時 五月三日午後一時
場所 大和高田市「辻基原館」
出席 岡本吉嗣、岡本吉作、岩崎之、齊藤 潔、宇田隆徳、平井義英
客員 稲本瑞恵
久し振りの総会の所折悪しく会員中病氣欠席者三名、その他日が好過ぎて他の会合の欠席者多く残念でした。でも鹿島氏推薦の件その他協議事項では雑誌等ほとんどに和かに充実した内容の総会だつた事を悦んで居ます。

逝去会員

松本注連之介氏 言・三 京都府
清水 宏 (29) 豊橋市平田町宗行 合二四ノ八
方 沢 卿 (25) 渋谷区千駄ヶ谷町一ノ五 鳥森南科診療所
高野 知子 (30) 世田谷区玉川中町一ノ五三
矢頭 洋 (33) 豊田市喜多町四ノ二五
城所 定雄 (5) 豊橋市大橋通一ノ一八
小川 秀雄 田川市東区伊田南大通り
杉山 忠憲 (25) 北海道余市郡大江村字仁木
現住所変更 (敬称略)
新支部長 中久喜八十君